

コード	名称	区分	コード	名称
事業名 337	一般管理経費	会計	02	国民健康保険事業特別会計(事業勘定)
		款	01	総務費
		項	01	総務管理費
基本 07	老後の生活や低所得者の自立を支える	目	01	一般管理費
		細目	465	一般管理費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	一般管理費
担当部課	コード	130600		担当者 藤岡 雅之
	名称	健康福祉部保険年金課		
		連絡先	22 - 9659 (内線)	2650

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	国民健康保険に係る一般事務	※対象件数
成果(どうする)	レセプト点検業務による医療費の適正化	
根拠法令・要綱等	国民健康保険法	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	国民健康保険証の送付、レセプト点検業務、制度改正に伴う電算開発委託等	
社会情勢の変化等	カード化した保険証の郵送方法を配達記録郵便から簡易書留郵便に変更した(配達記録郵便取扱い中止のため)	

整備内容(「施設の新設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の新設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
一般管理費		千円	目標 47827	目標 45758	46867	47000
			実績 46190	実績 393652		
国民健康保険証発行数(19年度から一人一枚)		枚	目標 25400	目標 25300	25300	25300
			実績 25100	実績 24570		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	目標		
				実績	実績		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	46,190	393,652	46,867	50,000				
Aの財源内訳								
国庫支出金			5,067					
県支出金								
地方債								
その他			6,909					
一般財源	46,190	393,652	34,891	50,000				
事業投入人件費(B)	3.0人	21,600	3.0人	21,600	3.0人	21,600	21,600	
フルコスト(A)+(B)	67,790	415,252	68,487	71,800				

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
効果性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
効率性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
達成度	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
他の事業主体の活用	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
コスト削減	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
有効性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
達成度	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	
達成度	当初設定した計画を 60%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	システム開発に高額な費用を要したが、終了後には減少するものとする。
達成度	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
効果性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
効果性	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
効果性	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	20年度から賦課内容に後期高齢者支援金が増え、特別徴収も実施になったのでシステム改修が必要となった。高額介護合算療養費が新設、非自発的離職者支援策として保険税の減免制度が新設のため大幅なシステム回収が必要となった
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 保険税に関するシステム回収は、既存のシステムを回収済み及び改修予定。高額介護合算療養費については、現段階では手処理で行っているが他市の状況等を調査しシステム導入を検討中

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	藤岡 雅之
事業の方向性	【方向性】 手法改善 【理由】 高齢者や貧困世帯を多く抱える国民健康保険制度は、社会の不況をものに受け制度改正が頻繁に行われている。
現時点における課題、その他	国民健康保険制度の改正に現システムでの対応が追いつかず、手処理等で対応しているが新しいシステム導入が必須である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	今年度中にシステム改修又は、新システムの導入をする。